



さきがけ「自在配列」領域 2期生 成果報告会

参加費無料

日時 2025年1月15日(水) 10:00～16:35

開催形式 オンライン開催(Zoom Webinar)

概要 さきがけ「自在配列」領域の成果報告会を開催いたします。本さきがけ研究領域は、2020年10月に立ち上がり、原子や分子を自在に結合、配列、集合する手法を駆使して、新しい物質や構造体を生み出し、その構造がもたらす新しい特性や機能を引き出すことにより、革新的な物質科学のパラダイムを構築することを目指しています。今回のシンポジウムでは、2期生として2021年度に採択された課題の研究成果を紹介いたします。いずれの課題も挑戦的で独創的であり、多くの革新的な成果が生まれました。皆様のご参加をお待ちしております。

定員 300名 (Zoom Webinar)

問い合わせ先

国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部
さきがけ「自在配列」領域担当
E-mail: presto_pma@jst.go.jp

お申し込みはこちらから

<https://form2.jst.go.jp/s/pma-sympo20250115>

※事前登録が必要です。
※定員に達しましたら締め切ります。



9:45-10:00 Zoom Webinar入室

10:00-10:10 西原 寛 研究総括（東京理科大学 特任副学長・総合研究院長）
開会挨拶

10:10-10:30 加藤 大地（京都大学 助教）
ローンペアと共に ～Lone pairs are not alone?～

10:30-10:50 水津 理恵（佐賀大学 准教授）
結晶トポロジーに基づいた高スピン偏極分子性材料の開発

10:50-11:10 塩貝 純一（大阪大学 准教授）
メンブレン積層制御による界面超構造の創出

11:10-11:30 河底 秀幸（東京都立大学 准教授）
酸化物における熱的な結晶相制御を活用した電気抵抗スイッチング

10:30-11:50 関 岳人（東京大学 助教）
超高感度STEM法の開発と局所原子配列の直接観察

11:50-13:00 昼食休憩

13:00-13:20 伊藤 傑（横浜国立大学 准教授）
擬ラセミ有機分子の相補的配列を利用した細孔性/発光性結晶の創製

13:20-13:40 林 宏暢（物質・材料研究機構 主任研究員）
「壁」を持つ環状分子の創出と可溶性ポラスナノシートへの展開

13:40-14:00 北尾 岳史（東京大学 助教）
ナノ空間が可能にする未踏単原子層物質の創製

14:00-14:20 関 朋宏（静岡大学 准教授）
変形可能結晶の発光色制御と未知機能を示す化合物群の開発

14:20-14:40 石割 文崇（大阪大学 講師）
表裏二面性物質に基づく高度な非対称物性の発現

14:40-14:55 休憩

14:55-15:15 梅澤 直樹（名古屋市立大学 教授）
可逆的共有結合を用いたペプチド立体構造制御と機能創出
～機能をもつかたちにペプチドを折りたたむ～

15:15-15:35 井改 知幸（名古屋大学 教授）
ラダー化が切り開く二次構造を自在に操る高分子デザインの未来

15:35-15:55 松本 和弘（産業技術総合研究所 研究チーム長）
シロキサンをきちんと作る ～自在に、しかも簡単に～

15:55-16:15 真壁 幸樹（山形大学 教授）
蛋白質ユニットを分岐連結させた新規構造体の創成

16:15-16:35 森本 淳平（東京大学 講師）
サブナノ有機ブロックの配列による生体分子操作ツールの合理設計

16:35-16:45 西原 寛 研究総括（東京理科大学 特任副学長・総合研究院長）
閉会挨拶